

スーパーマルチ DN メーター 取扱説明書

製品番号 05-05-0052



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

適応車種	モンキー 125	(JB02-1000001 ~)
		(JB03-1000001 ~)
		(JB05-1000001 ~)
	モンキー 125 タイモデル (MLHJB02) (MLHJB03)	

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)
- ◎当製品をお手入れする際には、ガソリンやシンナー等を使用しないで下さい。ラバーや樹脂部品の劣化の恐れがあります。
- ◎不明な点がございましたらお買い求め販売店にお問い合わせ下さい。
- ◎社外品の H.I.D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。
バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路の悪影響を与える高電圧ノイズが出る物があり、製品故障や動作不良の原因となります。
- ◎ヘッドライトの ON/OFF はメーターが破損する恐れがあります。
- ◎追加メーター類との同時装着は出来ません。
- ◎タイヤ外径補正機能により、表示速度を増減補正する事が出来ますが、不適切な設定を行なえば速度超過により取り締まりを受ける原因ともなります。
公道でもお使いになる場合は、ご自身の責任に於いてご使用下さい。
- ◎製品プログラムは予告無く変更・改良される場合があります。
- 同一の商品番号であっても製造時期により、動作や画面が多少異なる可能性があります。予めご了承下さい。
- ◎キー OFF にした際、各インジケータランプが一瞬点灯する場合がありますが異常ではありません。
- ◎一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合、こまめにバッテリーの充電を行って下さい。
又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外しこまめに充電を行うか、弊社製バッテリーチャージャーで充電をご使用下さい。
(待機電流でバッテリー上がりの原因になります。)
- ◎タイモデルは標準装備のイモビアラームとの併用が可能です。セッティング等でノーマルメーターはウインカーインジケータ点灯するが、スーパーマルチ DN メーターはウインカーインジケータは点灯せず、セキュリティ作動中純正メーター同様にワーニングランプ部分のみでの点灯となります。
- ◎ギアポジション表示は速度と回転数を元に表示切替を行っています。停止時は、ギアチェンジを操作しても表示が切り替わりません。

～特徴～

- ◎純正メーターと交換するだけで、一切の配線加工等を必要とせず装着する事が出来るマルチメーターです。速度、回転数、ギアポジション、温度計、燃料計、時刻表示、バッテリー電圧表示や、前輪タイヤ外径補正、バックライト色変更等、非常に多くの機能を搭載しています。
又、ほぼ純正メーターと同形状で同位置に装着出来る為、ノーマルメーターと同時に装着していた外装品 (スクリーン等) がそのまま使用出来ます。
- ◎タコメーター (回転数) 表示に指針式を採用する事で、優れた視認性と共にドレスアップ効果を高めます。
- ◎メーター操作や機能設定は、すべて付属の外部スイッチで行えます。

注意 ギアポジションの設定に関する注意事項

ギアポジションの設定にはスピード信号とエンジン回転信号の両方がスーパーマルチ DN メーターに入力される必要があります。
その為、“シャーンダイナモやフリーローラー” 又は “実走行” によるギア表示の学習が必要になります。
弊社では、安全性の面から “シャーンダイナモやフリーローラー” によるギア表示の学習を推奨します。
“実走行” で行う場合、市街地では信号機や交通量が多く危険の為、ギア表示の学習は行わないで下さい。
“実走行” で行う場合は見通しの良い場所を選択し、周囲の状況を確認した上で、注意して行って下さい。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時 (エンジン及びマフラーが冷えている時) に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みがないかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するが、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶつたりすると、窒息の恐れがあります。)
- 走行中はスイッチ操作を行わないで下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- モンキー 125 はノーマルの歯数以外のスプロケットに交換した場合、純正スピードメーターの表示に誤差が生じます。(エラーコードが出ます。)
- 又、ABS 警告灯が点灯し、ABS が作動しなくなります。これらを解決するには、別途車速信号補正ユニットが必要です。
弊社では、車速信号補正ユニットの販売は行っていません。

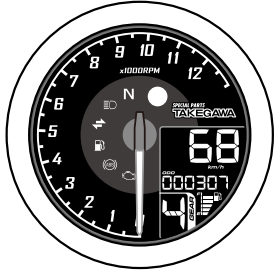
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

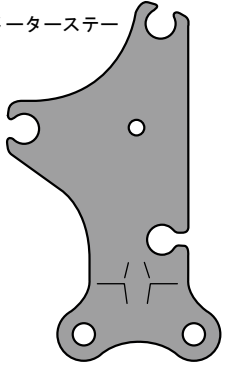
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

キット内容

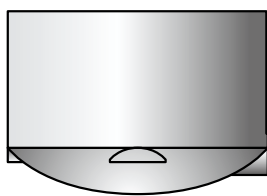
①メーター本体



②メーターステー



③メーターカバー



⑧フラットヘッドスクリュー M5



⑨クッションラバー



⑩クッションカラー A



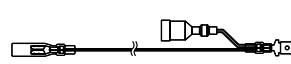
⑪ワッシャ M5 用



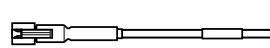
⑫ナット M5



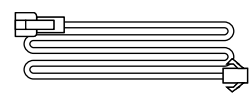
④RPM コード B (550mm)



⑤スティック温度センサー



⑥温度センサー連結コード (900mm)



⑦外部スイッチ



番号	部品名	数量	リペア品番	入数
1	メーター本体	1	—	—
2	メーターステー	1	—	—
3	メーターカバー	1	00-05-0185	1
4	RPM コード B (550mm) IG 接続用	1	00-05-0371	1
5	スティック温度センサー	1	07-04-0553	1
6	温度センサー連結コード (900mm)	1	07-04-0554	1
7	外部スイッチ	1	00-05-0070	1
8	フラットヘッドスクリュー M5	1	—	—
9	クッションラバー	3	—	—
10	クッションカラー A	3	—	—
11	ワッシャ M5 用	3	—	—
12	ナット M5	3	—	—
13	結束バンド 200mm	3	00-00-0269	10

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。
品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。予めご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。
予めご了承下さい。

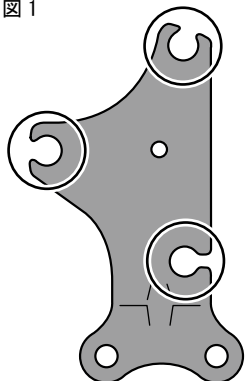
メーター本体の取り付け 下の組み立て図を参照の上、車体へ固定して下さい。



警告 取り付けを誤ると、ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。

■メーター本体とメーターステーの固定方法

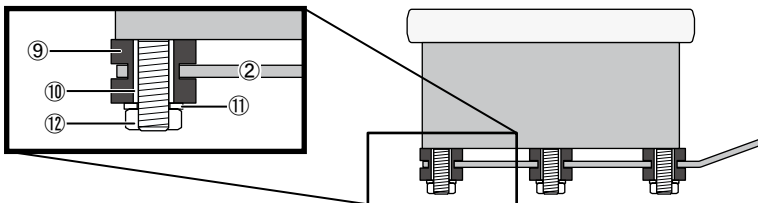
図 1



②メーターステーに⑨クッションラバーを取り付けます。
⑨クッションラバー中央にある溝に確実に②メーターステーを取り付けて下さい。3ヶ所（図 1）あります。
ステーにクッションラバーを装着後、各⑨クッションラバーに⑩クッションカラー A を差し込み、メーター本体にある固定ボルトを差し込みます。
各ボルトに⑪ワッシャ M5 を取り付け、⑫ナット M5 で固定します。（図 2）をご覧頂き、部品の取付け位置や順番をご確認下さい。
⑫ナット M5 を締め付ける前に⑨クッションラバーの角度を調整します。（図 3）の様に平らな面をメーターの外周に合わせて調整して下さい。
※クッションラバーの調整は、メーターカバー装着時の干渉を防止する為に行います。調整後に⑫ナット M5 を締め付けて下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。ナット M5 トルク：3N・m (0.3kgf・m)

図 2



⑨クッションラバー	
⑩クッションカラー A	
⑪ワッシャ M5 用	
⑫ナット M5	

■メーターとメーターカバーの固定方法

図 3

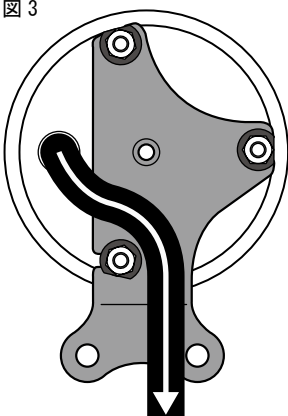
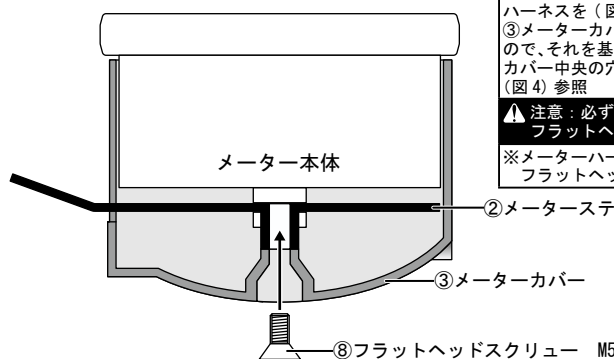


図 4

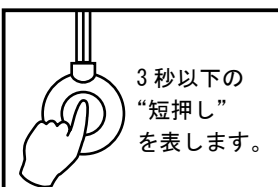


上記で組み付けられた製品に③メーターカバーを装着します。
メーター本体のハーネスをクッションラバーに干渉しない様に取り回します。（図 3）参考イメージ
ハーネスを（図 3）の状態にし、③メーターカバーを取り付けます。
③メーターカバーにはメーターステーとハーネスをよける切欠きがありますので、それを基準に差し込み、メーターステー中央にあるネジ穴と③メーターカバー中央の穴を合わせて⑧フラットヘッドスクリュー M5 で固定します。（図 4）参照

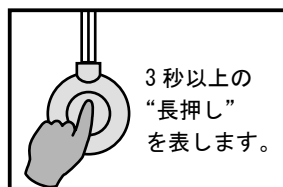
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
フラットヘッドスクリュー M5 トルク：2N・m (0.2kgf・m)

※メーターハーネスがメーターカバーに挟まれていないか再度確認の上、フラットヘッドスクリューを締め付けて下さい。

操作方法



3 秒以下の
“短押し”
を表します。



3 秒以上の
“長押し”
を表します。

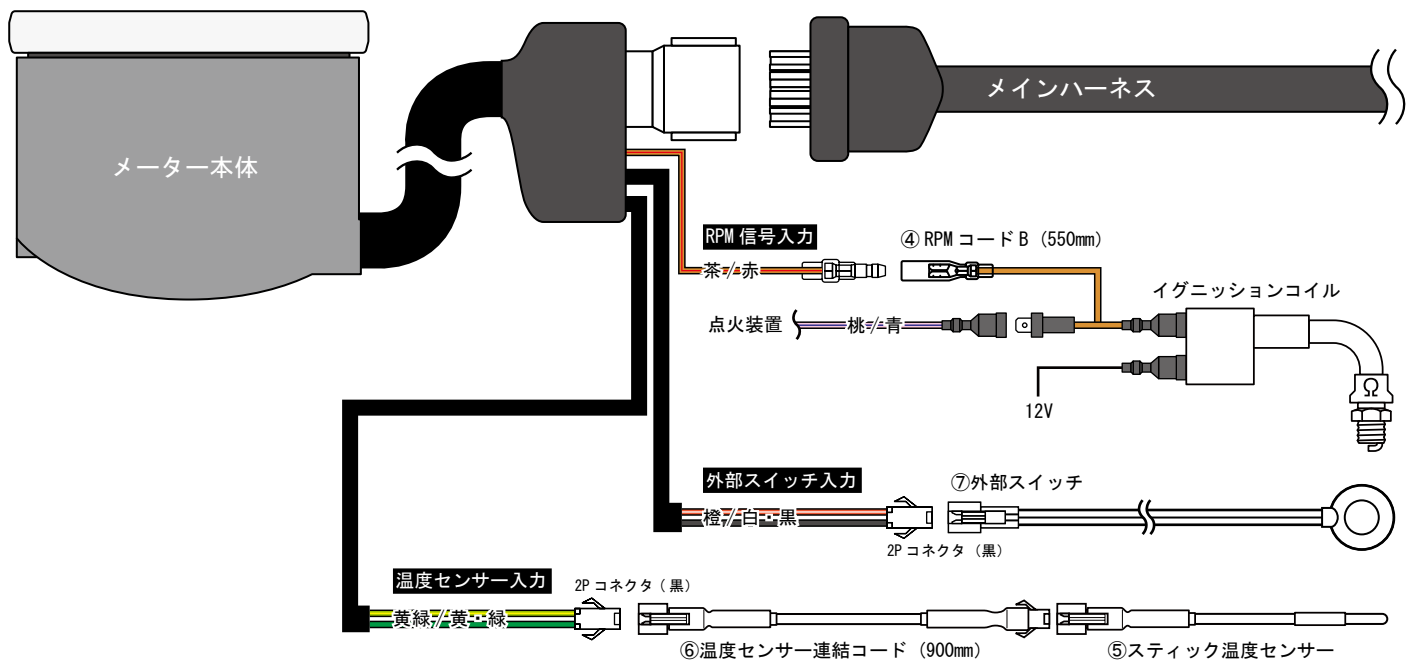
■全ての操作は、メーターに付属の外部スイッチにて行います。

■基本操作

表示送り・設定送りは 3 秒以下の“短押し”

設定画面への移動・設定内容の決定は 3 秒以上の“長押し”

■アイコン表示 ※左記アイコン表示にて“短押し”“長押し”を表現します。



※④ RPM コード B はイグニッションコイル本体に接触しない様にハーネスの取り回しを行って下さい。タコメーターの針が不安定になる恐れがあります。

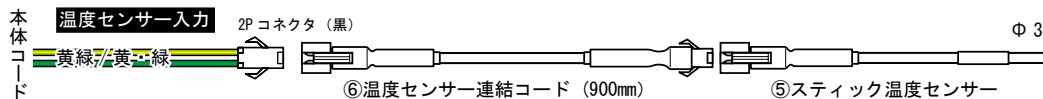
温度センサー入力について

温度センサー連結コード、温度センサーの接続

- 温度計の測定範囲は0～150℃です。
- 油温計測を行うには、別途オプションパーツのアダプター類が必要です。
- 弊社カタログにてオプションパーツをご覧下さい。
- 温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

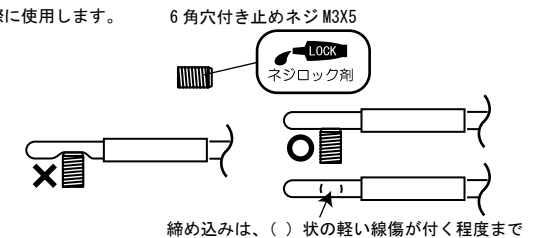
センサー未接続（配線が断線）時は数値が「- - - -℃」となります。



別売オプションパーツのドレンボルトやアダプターに付属の止めネジは、スティック温度センサーを固定する際に使用します。脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。

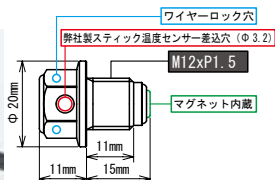
破損するとコードの断線又は短絡（ショート）と同じ状態になります。
断線時の表示：「- - - -℃」
短絡時の表示：「150.0℃」

注意 止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。



温度計オプションパーツ

- マグネット付きドレンボルト (M12xP1.5) モンキー 125 適合



エンジンオイルに混ざった鉄粉をドレンボルトに設けたマグネットが強力な磁力で吸着します。これにより、オイル内にある鉄粉が減少し、エンジンオイル本来の安定した潤滑性能を発揮する事が可能となります。更に弊社製アルミドレンボルトには、脱落防止としてワイヤーロックが行えるワイヤーロック穴と弊社製スティック温度センサー差込穴を備えています。スティック温度センサーをドレンボルトに取り付けし、弊社製スーパーマルチ DN メーターに接続する事でドレンボルト部での温度を計測する事が出来ます。ドレンボルト本体はアルミ材を精巧に削り出し、表面にカラーアルマイトを施しています。カラーはシルバーブラック、ブルー、レッドの4種類。弊社ロゴレーザーマーキング入り マグネットには磁力が強力なネオジムマグネットを採用。■マグネットは「カシメ」でしっかりと固定。■純正ドレンボルトと交換してご使用頂けます。

- 油温計用アダプター モンキー 125 弊社製オイルクーラーキット (ラバーホース) 装着車 適合



ラバーホース（内径Φ 8mm）採用のオイルクーラーキット装着車を対象とするスティック温度センサー差込穴付きアダプターです。オイル取り出し口とオイルクーラーをつなぐ、ラバーホースの間にこのアダプターを装着する事で、オイルライン（アダプター部）での温度を計測する事が出来ます。温度センサーはオイルと非接触の為、アダプター部での温度となりますが、オイル温度の目安としてご覧頂けます。当製品に付属のスティック温度センサーを接続する事で、温度をメーター内の液晶画面でご確認頂けます。

製品名	品番
ドレンボルト（マグネット付き）：M12 P1.5	シルバー 02-09-0022 ブルー 02-09-0024 ブラック 02-09-0023 レッド 02-09-0025
M12 シーリングワッシャー	00-00-0140
内径Φ 8mm オイルクーラーホースアダプター	07-04-0521

▲注意

走行距離を引き継ぐ場合は純正メーターを取り外す前に走行距離をメモなどに記録しておいて下さい。

メーター本体とメータースターの固定方法につきましては、説明書 P2 でもご覧頂けます。

■純正スピードメーターの取外し作業
ヘッドライトユニット下部のボルト
左右 2 本を取り外します。



ヘッドライトユニットを下部から分離させ上部の爪を外します。



ヘッドライトユニットの接続を外します。



ヘッドライトケースを止めているヘッドライトステー部のボルト 2 本を取り外します。



ヘッドライトケース内のボルト 1 本を取り外します。



ヘッドライトケースを移動させ、純正メーターカバー取り付けボルト、カバー、カブラーを取り外します。

▲注意
ヘッドライトケースを移動する際は、ハーネスに無理な力が掛からない様に注意して下さい。



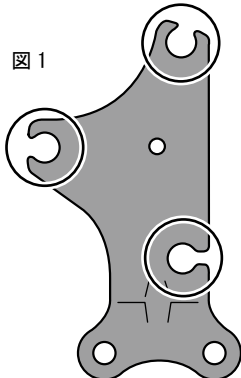
純正メーター取り付けボルト 2 本を取り外し、純正メーターを取り外します。



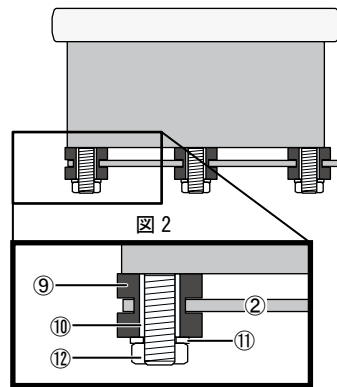
■メーター本体とメータースターの固定方法

②メータースターに⑨クッションラバーを取り付けます。⑨クッションラバー中央にある溝に確実に②メータースターを取り付けて下さい。3ヶ所(図1)あります。

図 1



スターにクッションラバーを装着後、各⑨クッションラバーに⑩クッションカラー A を差し込み、メーター本体にある固定ボルトに差し込みます。各ボルトに⑪ワッシャー M5 を取り付け、⑫ナット M5 で固定します。(図2) をご覧頂き、部品の取付け位置や順番をご確認下さい。



⑫ナット M5 を締め付ける前に⑨クッションラバーの角度を調整します。写真の様に平らな面をメーターの外周に合わせて調整して下さい。クッションラバーの調整は、メーターカバー装着時の干渉を防止する為に行います。調整後に⑫ナット M5 を締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット M5
トルク：3N・m (0.3kgf・m)

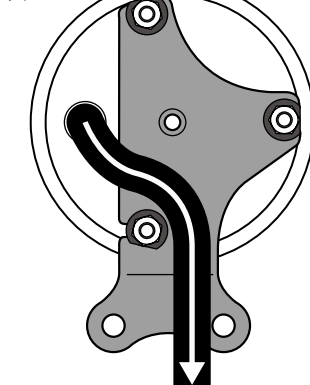
平らな面をメーターの外周に合わせる



■メーターカバーの取り付け作業

メーターに③メーターカバーを装着します。メーター本体のハーネスをクッションラバーに干渉しない様に取り回します。(図3) 参考イメージ
ハーネスを(図3)の状態にし、③メーターカバーを取り付けます。

図 3



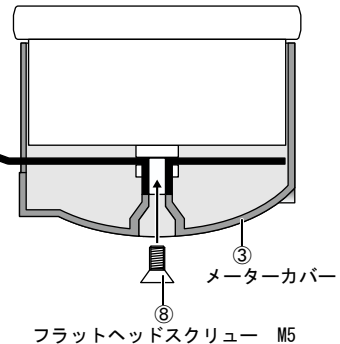
③メーターカバーにはメータースターとハーネスをよける切欠きがありますので、それを基準に差し込みます。



メータースター中央にあるネジ穴と③メーターカバー中央の穴を合わせて⑧フラットヘッドスクリュー M5 で固定します。(図4) 参照
メーターハーネスがメーターカバーに挟まれていないか再度確認の上、フラットヘッドスクリューを締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フラットヘッドスクリュー
トルク：2N・m (0.2kgf・m)

図 4



純正ボルト 2 本を用いてメータースターを取り付けます。

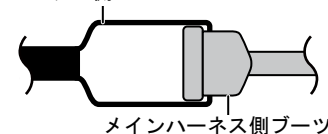


▲注意：必ず規定トルクを守る事。
純正ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

④RPM コード B、⑦外部スイッチ、⑤スティック温度センサーを説明書 P3 の配線概要を参考に接続作業を行って下さい。
④RPM コード B はイグニッションコイル本体に接触しない様にハーネスの取り回しを行って下さい。タコメーターの針が不安定になる恐れがあります。最後にメインハーネスとメーターハーネスのコネクターを差し込みます。写真のようにメインハーネスのブーツがメーターハーネス側のブーツに確実に入るように差し込みます。

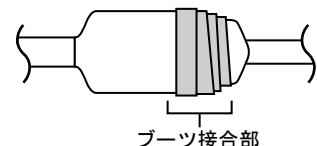


メーター側ブーツ



メインハーネス側ブーツ

▲注意
防水性を高める為、ブーツの接合部分を覆うように、市販の配線テープを巻き付けて下さい。

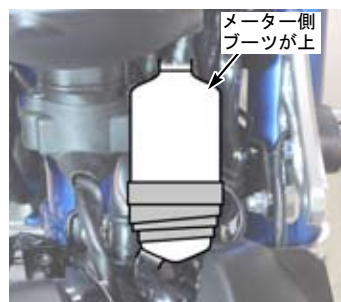


ブーツ接合部

配線テープ巻きつけによる防水処理

※テーピング及びブーツカバーの方向を無視した場合、ブーツカバー内に水が入り、メーターが破損する恐れがあります。

メインハーネスとメーターハーネスの取り回しを行い、下記イメージ図を参考にメーター側ブーツが上になる様にして下さい。温度センサー、スイッチ、パルスコードも必ず下側に向かって配線の取り回しを行って下さい。



メーター側
ブーツが上

ヘッドライトケース、ヘッドライトユニットを逆手順で取り付けます。

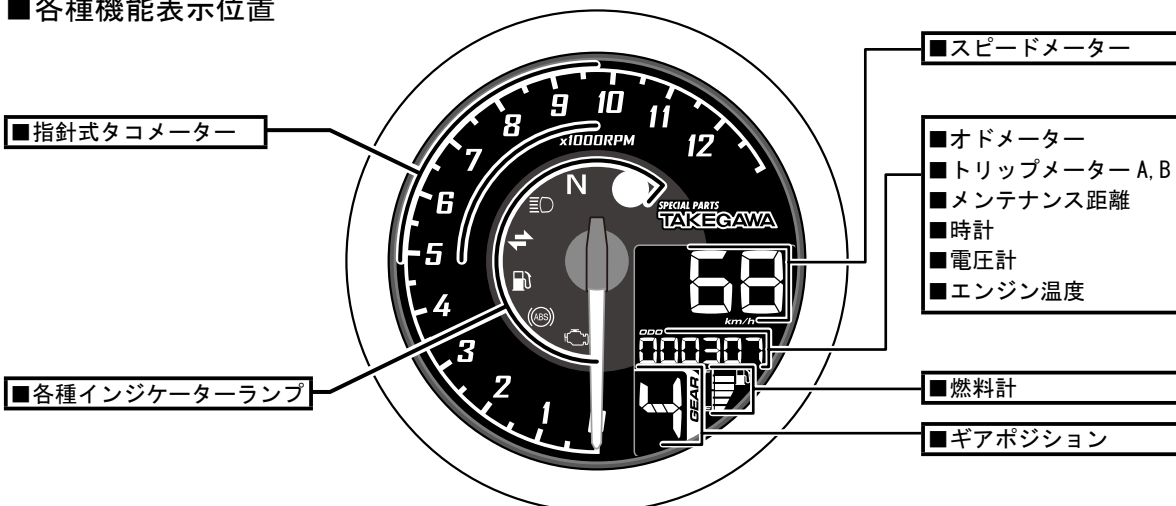
▲注意
ヘッドライトケースで、メーターハーネスを挟み込まない様に注意して下さい。断線や接触不良の原因になります。

■外部スイッチの貼り付け作業

メーターハーネスへ接続した外部スイッチを貼り付けます。弊社では、外部スイッチを R. ハンドルバースイッチ裏に貼り付けております。

※外部スイッチは完全防水ではありません。少々のお水濡れは問題ありませんが、雨水が直接当たらない場所にスイッチを貼り付けて下さい。

■各種機能表示位置



■各種機能一覧 設定方法見出し番号

	スピードメーター	表示範囲 : 0 ~ 360km/h	
		タイヤ外周設定 設定単位 : 1% 設定範囲 : 50 ~ 210%	設定→見出し番号④
		速度警告灯 設定範囲 : 30 ~ 360km/h 設定単位 : 1km/h	設定→見出し番号⑧
	タコメーター	表示範囲 : 0 ~ 13000rpm	
		回転数警告灯 設定範囲 : 1000 ~ 13000rpm 設定単位 : 100rpm	設定→見出し番号⑧
		点火設定 設定範囲 : 0.5・1 ~ 24 : Hi Act・Lo Act	設定→見出し番号⑤
	オドメーター	表示範囲 : 0 ~ 999999km 表示単位 : 1km (範囲を超えると 0 に戻ります) トータル走行距離・ユーザーオド設定機能	設定→見出し番号⑪
	トリップメーター A, B	表示範囲 : 0 ~ 9999.9km 表示単位 : 0.1km (範囲を超えると 0 に戻ります)	設定→見出し番号⑫⑬
	メンテナンス走行距離	設定範囲 : 500 ~ 16000km 設定単位 : 100km	設定→見出し番号⑨
		メンテナンス距離 (通知モード)	設定→見出し番号⑭
	ギアポジション	表示内容 全ギア表示、OFF 自動学習モードによるギア数登録機能	設定→見出し番号⑥
	燃料計 ※残量約 1L で ゲージ点滅します。	表示範囲 : 6 段階	
		フューエルセンサー抵抗値プリセット : 100 Ω・250 Ω・270 Ω・390 Ω 510 Ω・1200 Ω	設定→見出し番号⑦
		ユーザー抵抗値設定 抵抗値範囲 : 1 ~ 1500 Ω	
		燃料警告灯	設定→見出し番号⑧
	バックライト	輝度 設定範囲 : 1/5 (暗い) ~ 5/5 (明るい)	
		色 設定範囲 : 白、赤、橙、黄、緑、青、空、紫	設定→見出し番号③
	電圧計	表示範囲 : 8 ~ 18V	
		電圧警告灯 設定範囲 : 8 ~ 18V 設定単位 : 0.1V	設定→見出し番号⑧
	温度計	表示範囲 : 0 ~ 150°C 別途弊社製ドレンボルトをご購入頂くこと でドレンボルト部での温度計測が可能	詳細→見出し番号 P3
		温度警告灯 設定範囲 : 60 ~ 150°C	設定→見出し番号⑧
	時計	表示方法 : 12/24 時間	設定→見出し番号①

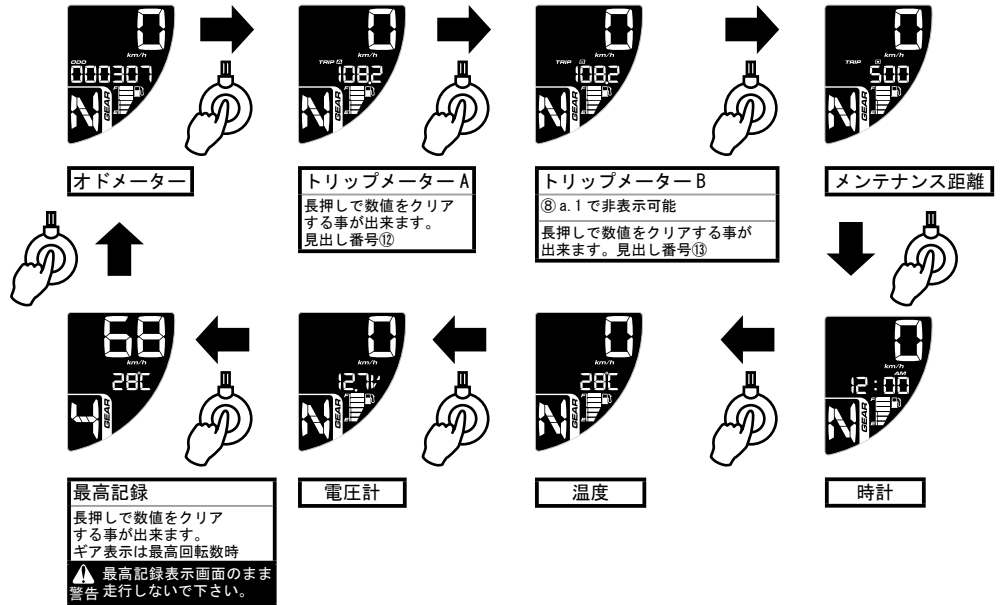
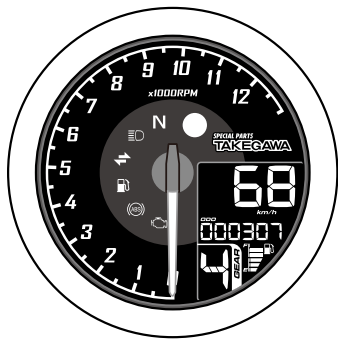
メーター本体のサイズ	φ 95 x 48mm
メーター本体の重量	250g
動作電圧	DC12V
使用温度範囲	-10 ~ +60°C

インジケータースランプ	アイコン
警告灯 (赤色灯)	●
ニュートラルランプ (緑色灯)	N
ハイビームランプ (青色灯)	HD
ターンランプ (緑色灯)	↔
燃料残量警告ランプ (黄色灯)	⛽
ABS ランプ (黄色灯)	(ABS)
エンジンチェックランプ (黄色灯)	🔧

◎キー OFF にした際、各インジケータースランプが一瞬点灯する場合がありますが異常ではありません。

メイン画面液晶表示切り替え

■メーター表示切り替えボタンを“短押し”することで、液晶画面に表示された各機能をご覧ください。



アジャスト画面の入り方と各種設定画面の切り替え方法

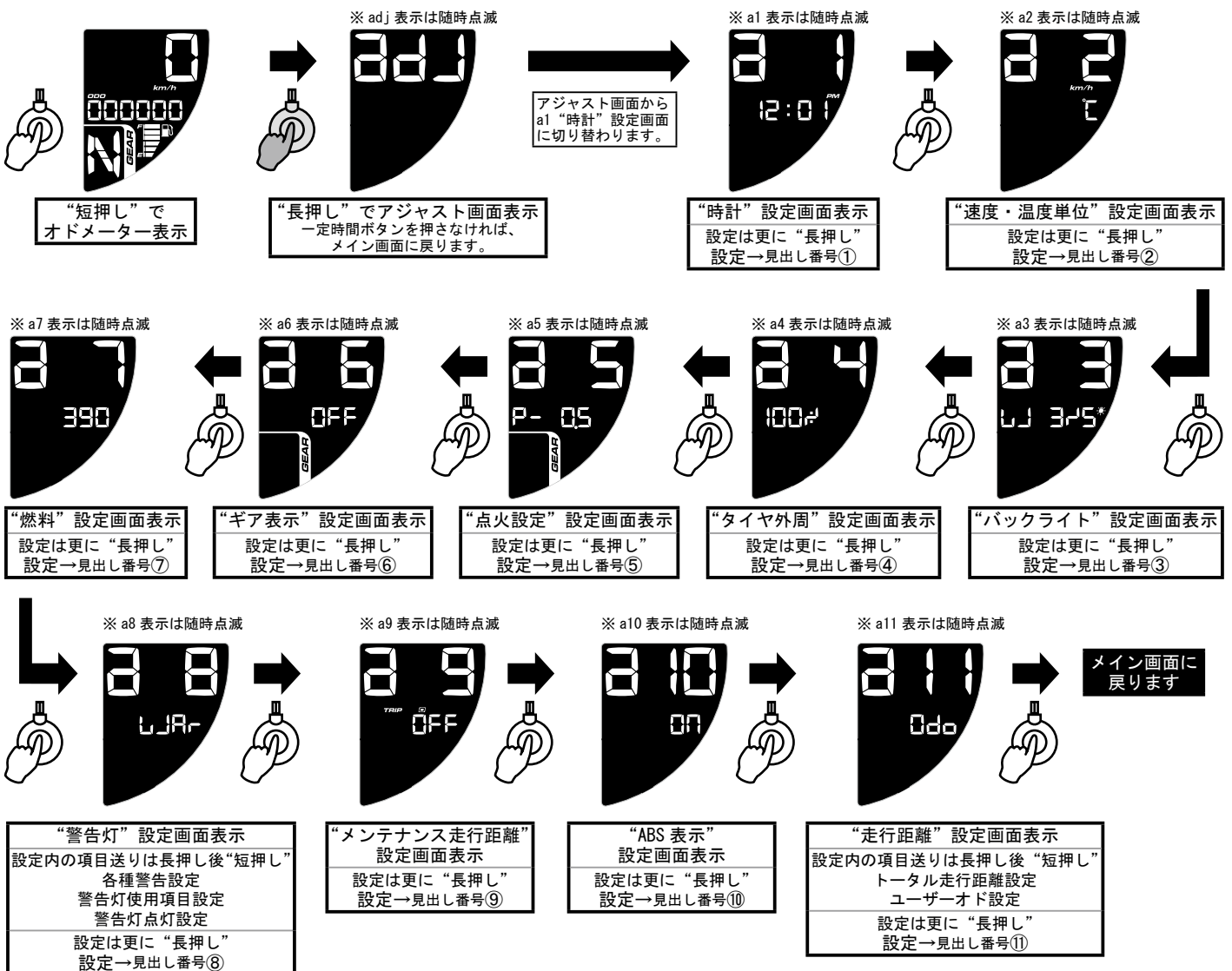
■アジャスト画面は各種設定の変更が行えます。

※アジャスト画面に入るには、必ず液晶画面機能表示を短押しで“000 (オドメーター)”に合わせる必要があります。

■“000 (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入る事が出来ます。

■アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。a1 ~ a11 への切り替えは“短押し”により、切り替え出来ます。

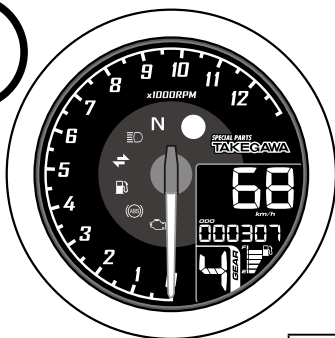
■更に選択する機能の設定画面に入るには、“長押し”を行います。選択した機能内での項目切り替えは、“短押し”になります。決定は“長押し”です。



⚠ 設定完了について 各設定を変更後アジャスト画面かメイン画面にてメーター電源を OFF にすると設定が完了します。

① a1 時刻設定

1



- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面からa1“時計”設定画面に切り替わります。
- a1“時計”設定画面の状態“長押し”し、a1“時計”設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



■ a1 “時計” 設定画面



※ 12h・24h 表示は随時点滅



※選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、12h、又は 24h の表示が点滅します。ここで 12h、又は 24h の表示方法を選択します。12h と 24h の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。



決定後、時間の(時)の部分が点滅し、設定が行えます。“短押し”で(時)を設定し、“長押し”する事で、決定となります。決定後(分)の部分が点滅し、同様に設定が行えます。設定後は“長押し”で、決定します。

12h 表示を選択した場合、AM、又は PM の部分のどちらかも同時に点滅します。時間設定時、AM と PM の点滅を確認し、午前か午後か判断して下さい。



a1 “時計” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“長押し”で設定画面に入ります。

② a2 速度・温度単位設定

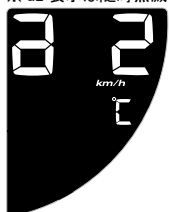
2

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態“短押し”し、a2 “速度・温度単位” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a2 表示は随時点滅



■ a2 “速度・温度単位” 設定画面



※ km/h・MPH 表示は随時点滅



※選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、km/h、又は MPH の表示が点滅します。ここで速度単位 (km/h、又は MPH) の表示方法を選択します。km/h と MPH の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

ご注意下さい。日本はメートル法のため、km/h を選択して下さい。



決定後、°C (摂氏)、又は °F (華氏) の表示が点滅します。ここで温度単位 (°C、又は °F) の表示方法を選択します。°C、と °F の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

ご注意下さい。°C (摂氏) を選択して下さい。



a2 “速度・温度単位” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a2 “速度・温度単位” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。

③ a3 バックライト設定

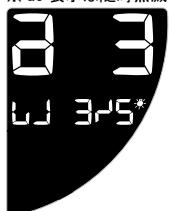
3

- 液晶画面機能表示を“ODO (オドメーター)”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態“短押し”し、a3 “バックライト” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点滅



※ a3 表示は随時点滅



■ a3 “バックライト” 設定画面



※選択部分は随時点滅



設定画面に入ると、バックライトの色表示が点滅します。ここでバックライトの色を選択します。(8色) バックライトの色の切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

色設定 (8色)
白・赤・橙・黄・緑・青・空・紫



決定後、バックライト明るさ表示が点滅します。ここでバックライト明るさを選択します。明るさの切り替えは、“短押し”で行います。決定は“長押し”になります。

設定範囲: 1/5 (最も暗い) ~ 5/5 (最も明るい)
設定単位: 1 ステップあたり 20% ずつ明るさが変化



a3 “バックライト” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a3 “バックライト” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。

④ a4 タイヤ外周設定

4

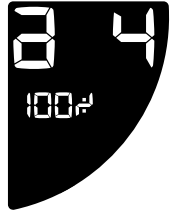
- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a4 “タイヤ外周” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※タイヤ外周設定によるスピード表示に関して
純正メーターは実際の速度より若干高い速度を表示しています。
純正メーターと同じ速度表示を希望される場合は 107%、実際の速度表示に近い数値を希望される場合は 100% に設定して頂く必要があります。
スプロケット T 数、タイヤサイズ変更時は下の表を参考にパーセンテージを計算し求めて下さい。

※ a1 表示は随時点滅



※ a4 表示は随時点滅



■ a4 “タイヤ外周” 設定画面



数字の切り替え
“短押し”
数字の決定
“長押し”
数字決定後は次の位に切り替わります。



※選択部分は随時点滅

設定画面に入ると、100 の位の数字が点滅します。
ここでタイヤ外周パーセンテージを入力します。
点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。
数字の決定は“長押し”になります。
決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。
最後の位を決定（長押し）すると設定完了となります。

純正タイヤ、純正スプロケットの場合
100% の状態で設定は不要です。上記記載内容の純正品と
同じメーター仕様にする場合は 107% に設定して下さい。

設定範囲 : 50 ~ 210%
“タイヤ外周パーセンテージ” は下記計算方法にてお求め
頂き、設定画面にて入力作業を行って下さい。

※車両条件により、計算方法が異なります。
計算方法の“車両条件”をご確認頂き、その条件に
合った計算方式で“タイヤ外周パーセンテージ”を
お求め下さい。



a4 “タイヤ外周” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うと
メイン画面に戻ります。

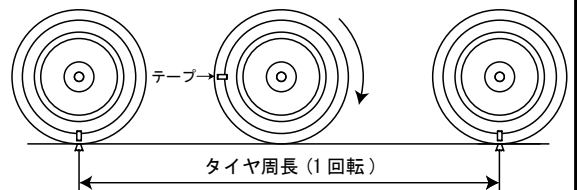


■車両条件 A
銘柄やサイズが純正と異なるタイヤ
(純正タイヤ以外のタイヤ)
を使用する場合はこちら

車両条件 A はこちら

■車両条件 A 後輪タイヤ外周パーセンテージの求め方

タイヤの銘柄やサイズを純正から変更し、
外周長が変わった場合、純正タイヤと変更
するタイヤの外周長を測定して下さい。



計算例)

変更するタイヤの外周長 1530mm / 純正タイヤの外周長 1610mm の場合 $1530 \div 1610 \times 100 = 95.03 \dots$
よって、この場合は 95% と入力します。

$$\frac{\text{変更するタイヤの外周長}}{\text{純正タイヤの外周長}} \times 100 = \text{補正值}$$

例) 1530mm / 例) 1610mm / 例) $\div 95$

※上記記載内容の純正品と同じメーター仕様にする場合は、下記の計算方法 (107%) を行って下さい。

$$\frac{\text{変更するタイヤの外周長}}{\text{純正タイヤの外周長}} \times 107 = \text{補正值}$$

例) 1530mm / 例) 1610mm / 例) $\div 102$

JB02 の場合を例にしています。

■車両条件 B
銘柄やサイズが純正と異なるタイヤ
(純正タイヤ以外のタイヤ)
を使用し、更にスプロケット丁数の
変更を行う場合はこちら
純正ドライブスプロケット 15T
純正ドリブンスプロケット 34T
(上記スプロケット丁数以外が該当)
※ JB03・JB05 は、
純正ドライブスプロケット 14T
純正ドリブンスプロケット 37T です。
右の式に当てはめて計算して下さい。

車両条件 B はこちら

■車両条件 B タイヤ外周パーセンテージの求め方

まず初めに上記車両条件 A と同様に“タイヤ外周パーセンテージ”を求めます。

変更するタイヤの外周長 $\div$ 純正タイヤの外周長 $\times 100 =$ 補正值

※純正品と同じメーター仕様にする場合 変更するタイヤの外周長 $\div$ 純正タイヤの外周長 $\times 107 =$ 補正值

計算例 1)

変更するタイヤの外周長 1530mm / 純正タイヤの外周長 1610mm の場合 $1530 \div 1610 \times 100 = 95.03 \dots$
よって、この場合は 95%

例) JB02

次に変更するスプロケットの二次減速比を求めます。

ドリブンスプロケット $\div$ ドライブスプロケット = 二次減速比

純正はドリブンスプロケット 34T、ドリブンスプロケット 15T の為、二次減速比は“2.267”

計算例 2)

変更するドリブンスプロケット 34T (純正) のままで、ドライブスプロケットを 15T から 16T へ変更する場合
34T (純正) $\div$ 16T = 2.125 二次減速比は“2.125”

$$\frac{\text{純正スプロケットの二次減速比}}{\text{変更するスプロケットの二次減速比}} \times \text{タイヤ外周パーセンテージ} = \text{補正值}$$

例) 2.267 / 例) 2.125 / 例) 95 / 例) $\div 101$

弊社製 5 速クロスミッションを装着し弊社製 SM-CON、スピードセンサーキット 2、スピードメーターコントローラーキット 2 を装着した場合はそちら側で設定を行います。

純正タイヤ・純正スプロケットで 100%、又は 107% (純正メーター表示) を入力している方は、そのままの状態でも SM-CON 等で設定変更を行って下さい。

銘柄やサイズが純正と異なるタイヤを使用し、タイヤ外周パーセンテージを求めて入力している方は、そのままの状態にして頂き、SM-CON 等で設定変更を行って下さい。
タイヤの変更と同時にスプロケット変更を行い、タイヤ外周パーセンテージを求めて入力している方は、“銘柄やサイズが純正と異なるタイヤを使用するの計算方法”でタイヤ外周パーセンテージを再度求めて頂き、入力後に SM-CON 等で設定変更を行って下さい。

⑤ a5 点火設定

5

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- a1 “時計”設定画面の状態を“短押し”し、a5 “点火設定”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a5 表示は随時点減



■ a5 “点火設定”設定画面

※選択部分は随時点減

数字の切り替え “短押し”

数字の決定 “長押し”

決定後は次の信号種類設定に切り替わります。

※選択部分は随時点減

数字の切り替え “短押し”

数字の決定 “長押し”

点火設定画面になると“0.5”などの数字（信号回数）が点滅しています。
点滅している数字（信号回数）の変更は、“短押し”で行います。表示方法の決定は“長押し”になります。

信号回数 0.5・1～24 回

⚠ ご確認下さい。
モンキー 125 の場合、“0.5”になります。

“長押し”により、決定を行うと次の信号種類設定になります。ここでは“Hi Act”、又は“Lo Act”が表示され、Hi Act、又は Lo Act 部分が点滅しています。
表示（Hi / Lo）の変更は“短押し”で行います。
表示方法の決定は“長押し”になります。

信号種類設定 Hi Act Lo Act

⚠ ご確認下さい。
モンキー 125 の場合、“Hi Act”になります。



a5 “点火設定”設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計”設定画面に切り替わります。
“短押し”で a5 “点火設定”設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



⑥ a6 ギア表示設定

6

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- a1 “時計”設定画面の状態を“短押し”し、a6 “ギア表示”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ギアポジションの設定に関して

ギアポジションの設定にはスピード信号とエンジン回転信号の両方がスーパーマルチ DN メーターに入力される必要があります。

その為、“シャーンダイナモフリーローラー”又は“実走行”によるギア表示の学習が必要になります。

弊社では、安全性の面から“シャーンダイナモフリーローラー”によるギア表示の学習を推奨します。

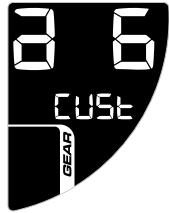
“実走行”で行う場合、市街地では信号機や交通量が多く危険の為、ギア表示の学習は行わないで下さい。

“実走行”で行う場合は見通しの良い場所を選択し、周囲の状況を確認した上で、注意して行って下さい。

※ a1 表示は随時点減



※ a6 表示は随時点減



■ a6 “ギア表示”設定画面

CUST (表示)

又は OFF (非表示)

※選択部分は随時点減

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。
ここでギア表示の選択 CUST (表示)・OFF (非表示) とギア表示の学習を行います。
点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。
設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目 CUST (表示) OFF (非表示)



OFF (非表示) を選択した場合は設定完了です。
a6 “ギア表示設定”に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計”設定画面に切り替わります。
“短押し”で a6 “ギア表示”設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。

※ご注意下さい。ギアに入れるタイミングはメーター側から指示されます。
ギア入力指示される（ギア表示の学習後）まで指定回転数を維持して下さい。

※ 3 表示は随時点減



“3”が点滅したら、3 速に入れます。
3 速のギア表示の学習開始
※次のギア入力指示まで指定回転数維持

※ 2 表示は随時点減



“2”が点滅したら、2 速に入れます。
2 速のギア表示の学習開始
※次のギア入力指示まで指定回転数維持

※ 1 表示は随時点減

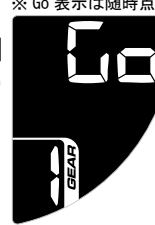


“1”が点滅し、1 速のギア表示の学習開始
※次のギア入力指示まで指定回転数維持

1 速で走り出すことでギアポジションのギア表示の学習開始

※ LEARN は随時点減

“短押し”でギア表示の学習待機画面へ切り替わります。



Go 表示は随時点減

CUST (表示) を“長押し”で選択した場合、設定画面に切り替わり、LEARN の文字が点滅します。
ここで“短押し”を行うと Go の文字が点滅し、ギアポジション“1”が表示されます。
この状態が“実走行”によるギア表示の学習の待機状態になります。
ここから 1 速に入れて走り出すことで、読み込みがスタートします。必ず下記注意事項をご確認下さい。

実走行によるギア表示の学習 注意点
■ホイールが回転しない状態では設定出来ません。
■クラッチを切った状態で、エンジン回転を上げても設定出来ません。

■各ギア共に 3000rpm 以上の回転数を保って下さい。
ギアを入れて指定回転数を維持する事で、ギアが設定されます。設定されると次のギア入力指示が表示されますので、メーターからの指示があるまで次のギア入力を行わないで下さい。

■半クラッチ状態では設定出来ません。（スタート時除く）
■4 速の場合、4 速に入れた後、設定が終了するまで一定時間走行を続けて下さい。（回転数 3000rpm 以上）

※ギアポジション自動読み込み設定完了通知は下記
■トップギアを入れる前に減速や指定回転数以下になった場合は最初からやり直して下さい。

Go の文字点滅（待機状態）から 1 速で走り出す事で、ギア表示の学習がスタートします。
次のギアに入れるタイミングはギア表示の学習後、メーター側からギア入力指示が表示されますので、そのタイミングでギア入力を行って下さい。

最終ギアまで入力した後は、指定回転数を維持した状態でしばらく走行して下さい。その後 4 速であっても“5”の文字が点滅し、5 速ギアの入力指示がありますがそのまま走行します。

最後に dOnE の文字が表示され、設定が完了します。
設定が完了すると“メイン画面”自動で戻ります。

※ 4 表示は随時点減



“4”が点滅したら、4 速に入れます。
4 速のギア表示の学習開始
※次のギア入力指示まで指定回転数維持
4 速ではここまではありますが、そのまま指定回転数維持を行って下さい。

※ 5 表示は随時点減



“5”が点滅します。
4 速率はそのまま指定回転数維持を行って走行して下さい。
※ 4 速のまま走行する事で、メーター本体が 5 速がない事を認識します。

※ dOnE 表示は随時点減



“dOnE”が点滅します。点滅後にメイン画面に戻りますので、それまで指定回転数維持を行って走行して下さい。
※自動でメイン画面に戻ると設定完了となります。

⑦ a7 燃料設定

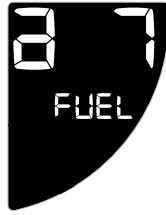
7

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- a1 “時計” 設定画面の状態を“短押し”し、a7 “燃料” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減

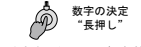
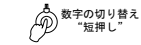


※ a7 表示は随時点減



■ a7 “燃料” 設定画面

※選択部分は随時点減



決定後は次のユーザー抵抗値設定に切り替わります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
“短押し” で a7 “燃料” 設定画面へ切り替えます。

“長押し” で設定画面に入ります。

燃料設定画面になるとプリセットされた抵抗値が表示されます。“100”などの数字（抵抗値）が点滅します。点滅している数字（プリセットされた抵抗値）の変更は、“短押し”で行います。表示方法の決定は“長押し”になります。

プリセットされた抵抗値

100 Ω 250 Ω 270 Ω 390 Ω 510 Ω 1200 Ω

⚠ ご確認下さい。
モンキー 125 の場合、“390 Ω”になります。
※燃料表示に問題がある場合、再度この抵抗値をご確認下さい。表示にはΩは表示されず、数値のみになります。

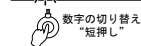
“長押し”により、決定を行うと“CUST”が表示され次のユーザー抵抗値設定になります。ユーザー抵抗値設定の必要の無い場合は、“短押し”を行い、a7 “燃料” 設定画面に戻ります。



a7 “燃料” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

■ a7 “ユーザー抵抗値” を使用する場合



数字決定後は次の位に切り替わります。



プリセット抵抗値を“短押し”により、数値を変更していくと“CUST”が表示され、次のユーザー抵抗値設定になります。ここでは“1 ~ 1500 Ω”の範囲で数値を選択する事が出来ます。設定画面に入ると、1000 の位の数字が点滅します。ここで使用する抵抗値を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の1の位を決定（長押し）すると設定完了となります。ユーザー抵抗値設定：1 ~ 1500 Ω



a7 “燃料” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

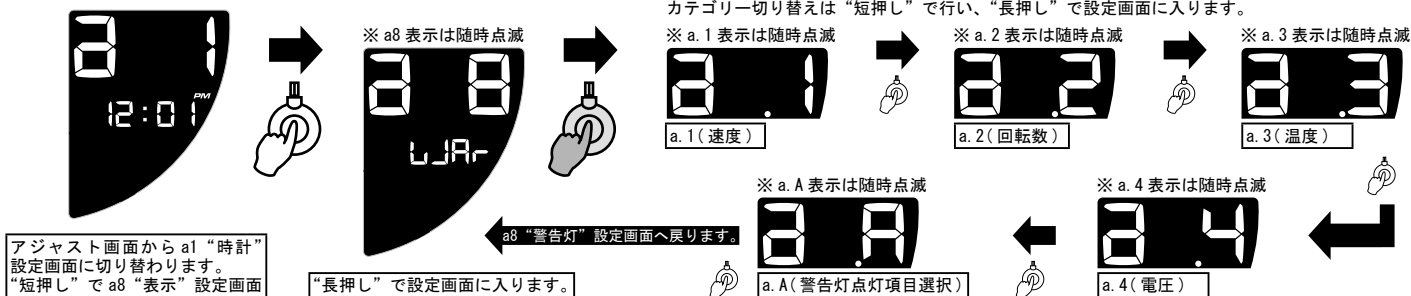


⑧ a8 警告設定

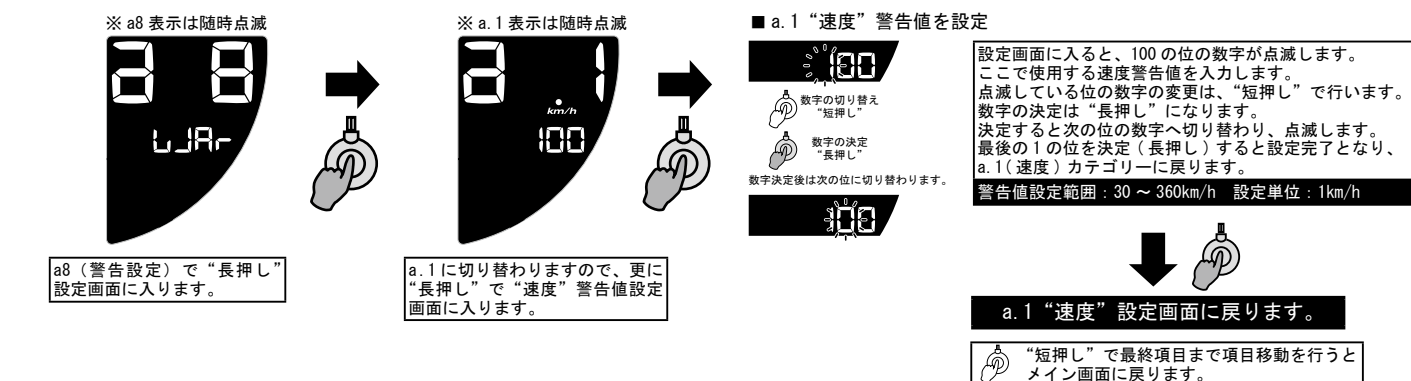
8

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
 - a1“時計”設定画面の状態“短押し”し、a8“警告”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。
- 警告設定の中には更にカテゴリーが“a.1（速度）・a.2（回転数）・a.3（温度）・a.4（電圧）・a.A（警告灯表示項目選択）”の5つ存在します。カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

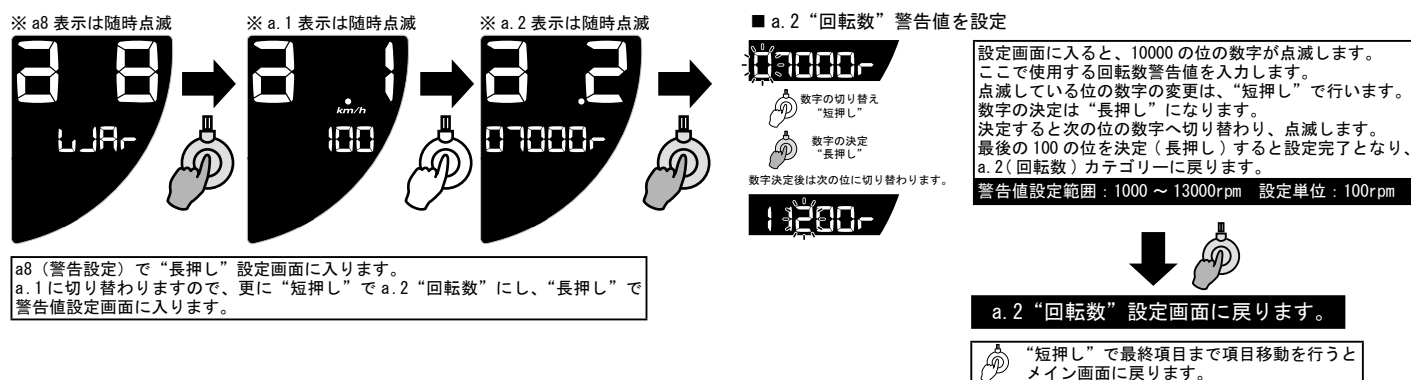
警告設定の中には更にカテゴリーがの5つあります。カテゴリー切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。



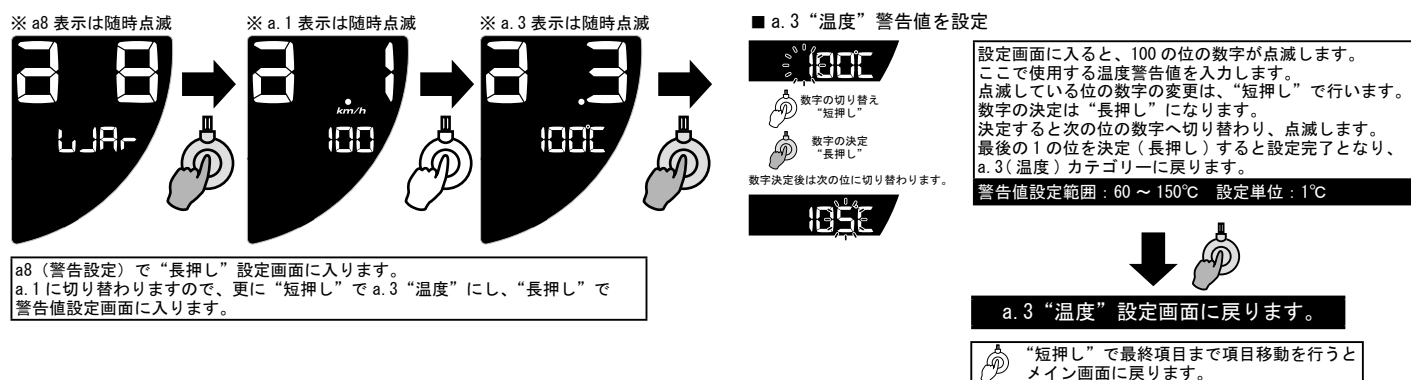
カテゴリー a.1 速度警告値を設定



カテゴリー a.2 回転数警告値を設定



カテゴリー a.3 温度警告値を設定

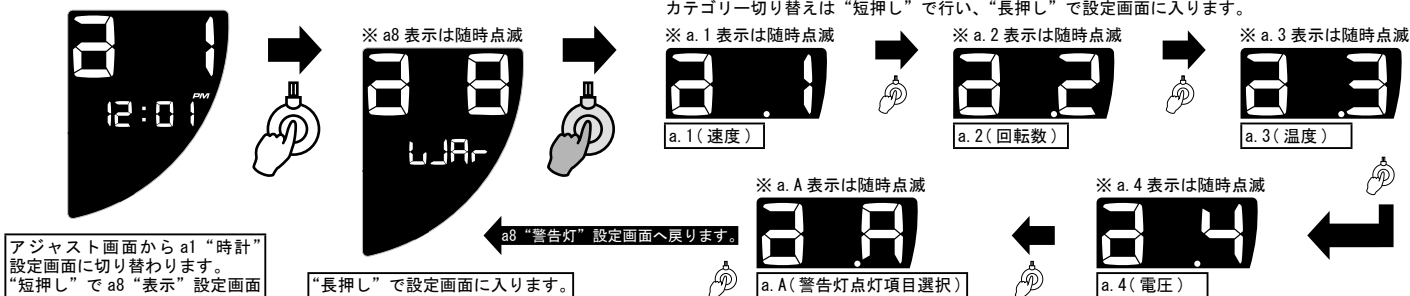


⑧ a8 警告設定

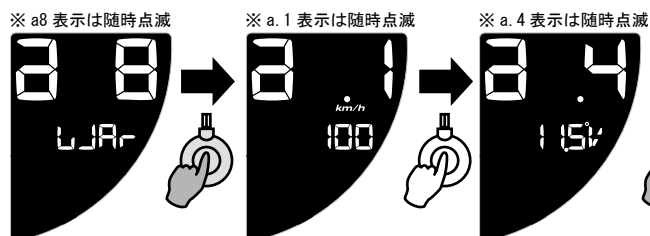
8

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面からa1“時計”設定画面に切り替わります。
- a1“時計”設定画面の状態で“短押し”し、a8“警告”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。警告設定の中には更にカテゴリが“a.1（速度）・a.2（回転数）・a.3（温度）・a.4（電圧）・a.A（警告灯表示項目選択）”の5つ存在します。カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

警告灯設定の中には更にカテゴリが5つあります。カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

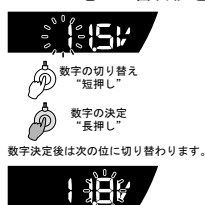


カテゴリ a.4 電圧警告値を設定



a8（警告設定）で“長押し”設定画面に入ります。a.1に切り替わりますので、更に“短押し”でa.4“電圧”にし、“長押し”で警告値設定画面に入ります。

■a.4“電圧”警告値を設定



設定画面に入ると、10の位の数字が点滅します。ここで使用する電圧警告値を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の0.1の位を決定（長押し）すると設定完了となり、a.4（電圧）カテゴリに戻ります。

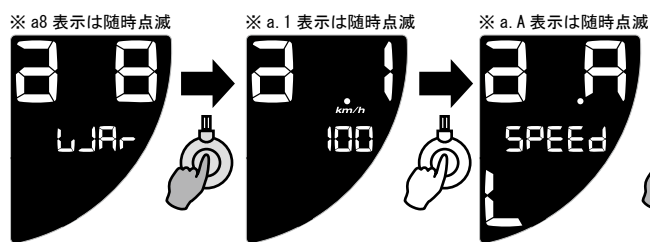
警告値設定範囲：8～18V 設定単位：0.1V



a.4“電圧”設定画面に戻ります。

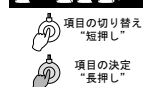
“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

カテゴリ a.A 警告灯点灯項目を選択



a8（警告設定）で“長押し”設定画面に入ります。a.1に切り替わりますので、更に“短押し”でa.A“警告灯点灯項目”にし、“長押し”で選択画面に入ります。

■a.A“警告灯点灯項目”を選択



※選択部分は随時点滅



設定画面に入ると、警告灯点灯項目が点滅します。ここで警告灯を点灯させる項目を選択します。点滅している項目の変更は、“短押し”で行います。項目の決定は“長押し”になります。決定すると次の“点灯方法選択”へ切り替わります。

選択項目
SPEED（速度）
rPm（回転数）
tEnP（温度）
VOLT（電圧）
L-FUEL（燃料）※残量約1Lで反応します。
S-ODO（走行距離）
t-GEAR（トップギア）
※項目を選択する事で警告時、中央にあるインジケータの警告灯が点灯（点滅）します。

項目の決定“長押し”により、“点灯方法選択”へ切り替わります。

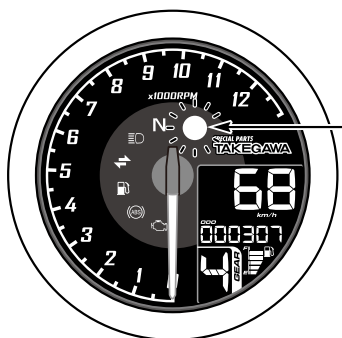
点滅方法選択へ切り替わると、ギアポジション部に表示されている“L”“S”“F”のいずれかが点滅します。ここで警告灯を点灯方法を選択します。点滅している点灯方法の変更は、“短押し”で行います。点灯方法の決定は“長押し”になります。決定すると“警告灯点灯項目”画面へ切り替わります。

選択項目
L（点灯）
S（ゆっくりとしたパターンの点灯）
F（早いパターンの点滅）



a.A“警告灯点灯項目”画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



インジケータランプの警告灯が点灯します。

⑨ a9 メンテナンス走行距離設定

9

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- a1“時計”設定画面の状態を“短押し”し、a9“メンテナンス走行距離”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a9 表示は随時点減



■ a9 “メンテナンス走行距離” 設定画面

ON (表示)



又は

OFF (非表示)



※選択部分は随時点減

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。

ここでメンテナンス走行距離表示の ON (表示)・OFF (非表示) を選択します。点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。設定項目の決定は“長押し”になります。

設定項目

ON (表示)

OFF (非表示)



OFF(非表示)を選択した場合は設定完了です。
a9 “メンテナンス走行距離設定”に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
“短押し”で a9 “メンテナンス走行距離” 設定画面へ切り替えます。

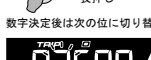
“長押し”で設定画面に入ります。



数字の切り替え “短押し”

数字の決定 “長押し”

数字決定後は次の位に切り替わります。

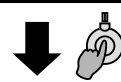


※選択部分は随時点減

ON (表示) を選択した場合、設定画面に切り替わり、10000 の位の数字が点滅します。ここで希望するメンテナンス走行距離を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の 100 の位を決定 (長押し) すると設定完了となります。

設定範囲 : 500 ~ 16000km

入力した走行距離は、走行することで自動で減少します。



a9 “メンテナンス走行距離設定”に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

⑩ a10 ABS 表示設定

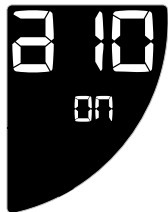
10

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。
- a1“時計”設定画面の状態を“短押し”し、a10“ABS 表示”設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a10 表示は随時点減



■ a10 “ABS 表示” 設定画面

ON (表示)



又は

OFF (非表示)



※選択部分は随時点減

設定画面に入ると、設定項目が点滅します。

ここで ABS 表示の ON (表示)・OFF (非表示) を選択します。点滅している設定項目の変更は、“短押し”で行います。設定項目の決定は“長押し”になります。

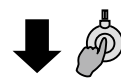
ABS 車両の場合は ON (表示) を設定します。

ABS ではない車両の場合は OFF (非表示) を設定します。

設定項目

ON (表示)

OFF (非表示)



a10 “ABS 表示” 設定画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
“短押し”で a10 “ABS 表示” 設定画面へ切り替えます。

“長押し”で設定画面に入ります。



⑪ a11 走行距離

11

- 液晶画面機能表示を“ODO（オドメーター）”に合わせた後、メーター表示切り替えボタンを“長押し”する事で、アジャスト画面に入ります。アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。
- a1 “時計” 設定画面の状態で“短押し”し、a11 “走行距離” 設定画面へ切り替え、“長押し”で設定画面に入ります。表示設定の中には更にカテゴリが“a.1（トータル走行距離設定）・a.2（ユーザーオド設定）”の2つ存在します。カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a1 表示は随時点減



※ a11 表示は随時点減



表示設定の中には更にカテゴリがの2つあります。カテゴリ切り替えは“短押し”で行い、“長押し”で設定画面に入ります。

※ a.1 表示は随時点減



※ a.2 表示は随時点減



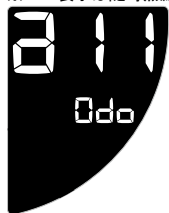
a10 “走行距離” 設定画面へ戻ります。

アジャスト画面から a1 “時計” 設定画面に切り替わります。“短押し”で a11 “走行距離” 設定画面へ切り替えます。

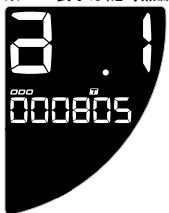
“長押し”で設定画面に入ります。

カテゴリ a.1 トータル走行距離

※ a11 表示は随時点減



※ a.1 表示は随時点減



■ a.1 “トータル走行距離”



ここでは当メーター装着後の走行距離を確認出来ます。確認終了は“短押し”で、次の項目画面が変わります。

⚠️ ご注意ください。
トータル走行距離（オドメーター）の表示は消したり、調整する事は出来ません。

表示範囲：0 ~ 999999km



a.2 “ユーザーオド設定” 画面になります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。

カテゴリ a.2 ユーザーオド設定

※ a11 表示は随時点減



※ a.1 表示は随時点減



※ a.2 表示は随時点減



■ a.2 “ユーザーオド設定”



数字の切り替え
“短押し”
数字の決定
“長押し”
数字決定後は次の位に切り替わります。
※選択部分は随時点減



ユーザーの走行距離入力画面に入ります。ここでは希望する走行距離を入力します。

⚠️ ご注意ください。
トータル走行距離（オドメーター）の表示は消したり、調整する事は出来ません。

ユーザーの走行距離入力画面に入ると、100000 の位の数字が点滅します。ここで希望する走行距離を入力します。点滅している位の数字の変更は、“短押し”で行います。数字の決定は“長押し”になります。決定すると次の位の数字へ切り替わり、点滅します。最後の1の位を決定（長押し）すると設定完了となります。

表示範囲：0 ~ 999999km

走行することで入力した走行距離に自動で加算されます。



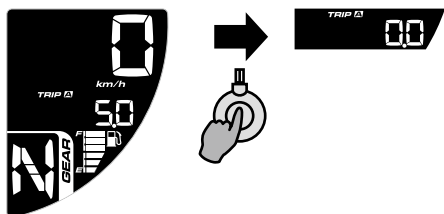
a.2 “ユーザーオド設定” 画面に戻ります。

“短押し”で最終項目まで項目移動を行うとメイン画面に戻ります。



⑫ トリップメーター A の数値をクリアにする方法

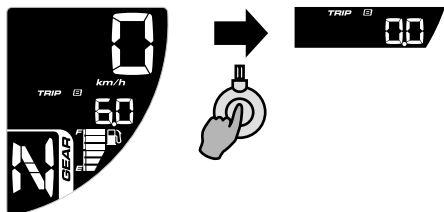
12



- メイン画面液晶表示切り替えてトリップ A 画面にし“長押し”することで、数値がクリアされます。

⑬ トリップメーター B の数値をクリアにする方法

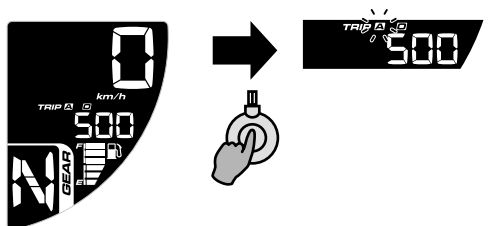
13



- メイン画面液晶表示切り替えてトリップ B 画面にし“長押し”することで、数値がクリアされます。

⑭ メンテナンス走行距離（通知モード）

14



- メイン画面液晶表示切り替えてメンテナンス走行距離画面にし“長押し”することで通知モードになります。

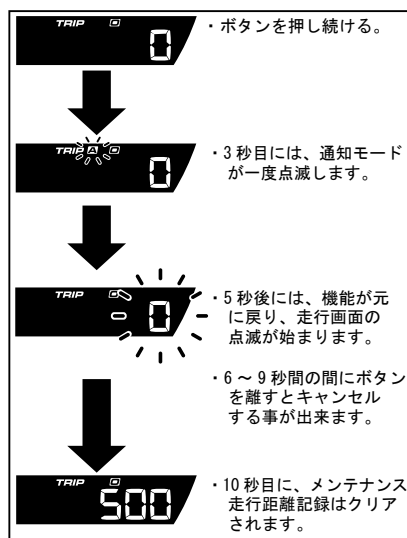


- 通知モードでは、メンテナンス走行距離に到達すると他の画面からでも自動的にメンテナンス走行距離画面に変わります。



- メンテナンス走行距離が設定した数値から減っていき 0 になるとスクリーンが点滅します。

- ボタンを 10 秒間“長押し”するとメンテナンス走行距離記録モードはクリアされます。



トラブルシューティング

■下記のような症状の場合はメーターの故障ではありません。修理に出す前にご確認ください。

電源が入っているのにメーターが動かない。	■メーターに電気が来ない。 →配線が確実につながっているか確認して下さい。又、配線やヒューズが切れていないか確認して下さい。 →メーター電源には DC12V が必要です。バッテリーが古かったり、故障していたりすると機能しません。
動作が不安定・表示されない時がある。	接触不良が考えられます。各部の配線接続を確認して下さい。
タコメーターの指針が不安定。	RPM コードがイグニッションコイルのボディーに接触している場合に起こる可能性があります。 取り回しを変更しイグニッションコイルに干渉しない様取り回しを行って下さい。

※確認後に症状が続くようなら販売店にお問合せ下さい。

◎この取扱説明書は弊社ホームページに PDF データーでアップしております。

印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認ください。

